

# 令和7年度キャリア教育指導者養成研修 実施要項

## 1 目 的

児童生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくため、各教科・科目等の特質に応じたキャリア教育を充実させることが求められている。

本研修では、学校や地域において、1) キャリア教育に関する諸課題の改善に専門的知見を活用し組織的な取組を推進する力、2) 教職員の専門性向上を推進する力、を習得した指導者の養成を図る。

## 2 主 催 独立行政法人教職員支援機構、富山県教育委員会

## 3 共 催 文部科学省

## 4 実施期間・形態等

- 【第1回】 期 間 : 令和7年8月19日(火)～8月22日(金)  
形 態 : 対面研修  
会 場 : パレブラン高志会館 (〒930-0018 富山県富山市千歳町1-3-1)  
定 員 : 100名
- 【第2回】 期 間 : 令和7年10月29日(水)～10月31日(金)  
形 態 : リアルタイム・オンライン研修  
定 員 : 60名程度

## 5 参加者

### (1) 参加資格

ア 都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じるもの

イ 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭等であって、各地域において「本研修内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者」としての活動を行う者

※ 全日程を通して参加できる者を推薦すること

※ 「第5次男女共同参画基本計画」(令和2年12月25日閣議決定)を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を20%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。(参考:令和5年度…27.7%)

### (2) 推薦人数

#### ① 第1回

各都道府県教育委員会においてはコース毎に1名程度とする。

各指定都市教育委員会、各中核市教育委員会、各都道府県知事部局、附属学校を置く各国公立大学、国立青少年教育振興機構においては両コース合わせて1名程度とする。

#### ② 第2回

各都道府県教育委員会、各指定都市教育委員会、各中核市教育委員会、各都道府県知事部局、附属学校を置く各国公立大学、国立青少年教育振興機構においてはそれぞれ1名程度とする。

※ なお、第1回及び第2回のどちらも推薦者を出す場合は、それぞれ別の者を推薦すること。

### (3) 推薦手続

- ① 第1回 推薦期限 : 令和7年6月24日(火)  
② 第2回 推薦期限 : 令和7年9月18日(木)

推薦する機関においては、推薦する候補者を取りまとめて、「研修システム」により推薦を行う。ただし、中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修システム」により推薦を行う。

### (4) 参加者の決定

推薦する機関からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。ただし、標準定員を超過する場合は、参加者数を調整する。そのため、「研修システム」により推薦を行う際に、候補者毎に推薦順位を入力すること。

## 6 研修内容

- ① 第1回 「第1回\_日程表」のとおりとする。

小学校・中学校・高等学校におけるキャリア教育の定着や充実をねらいとし、発達段階に応じたキャリア教育の在り方やキャリア教育推進のための具体的な手立て等について、演習や課題協議を実施する。また、3日目～4日目午前の一部の日程において、「経営コース」と「推進コース」に分かれて研修を行う。各コースの対象と内容は以下のとおりとする。

#### 【経営コース】

対 象	・教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事等 ・校長、副校長及び教頭等
内 容	演習等を通して、キャリア教育を域内や校内で推進する上で必要な連携体制の在り方や、キャリア教育の評価・改善方策などを協議する。

#### 【推進コース】

対 象	・教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事等 ・主幹教諭、指導教諭及び教諭等
内 容	演習等を通して、各教科等においてキャリア教育の充実を図るための指導の在り方や工夫、個に対する指導の在り方などを協議する。

- ② 第2回 令和7年8月頃、「第2回\_日程表」を推薦者に通知する。

キャリア教育の在り方や指導者としての関わり方について、これまでの自身の実践と向き合い、今後の実践を試行錯誤しながら展開する力の涵養をねらいとする。対話や個人探究、及び講義を通して、キャリア教育自体を捉え直すことや自身の役割を問い直すことで生じる気づきをもとに、今後の実践の発展を構想する。

対 象	・教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事等 ・校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭等 ※ キャリア教育の推進に2年以上携わる者を推奨
内 容	グループ対話や書物等を用いた個人探究、及び講師による講義等を通して、キャリア教育の在り方や指導者としての関わり方などを探究する。

## 7 事前課題（第1回）

### (1) 【課題様式1】研修成果活用計画書の作成

参加者及び所属長は事前に「研修成果活用計画書」を作成し、提出すること。なお、様式、提出方法等については、参加者決定時に別途連絡する。

### (2) 【課題様式2】キャリア教育実践状況報告書の作成

演習・協議用資料として、事前にキャリア教育の実践状況についてまとめた資料（A4用紙1枚程度）を作成し、提出すること。なお、内容、提出期限、提出方法については、参加者決定時に別途連絡する。

### (3) その他の事前課題

その他の事前課題がある場合は、参加者決定時に別途連絡する。

※ 第2回的事前課題については令和7年8月頃に、推薦者に通知する。

## 8 研修成果の活用

本研修は、参加者の研修成果を各学校や当該地域で活用することを前提としている。そのため、研修終了後、1年程度の期間を経た後に、研修成果の活用状況（研修企画、研修講師、他校訪問等）についてのアンケート調査を実施する。推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

## 9 その他

(1) 所定の課程を修了した参加者には、修了証書を授与する。参加者推薦の際に、必ず参加者の氏名を確認し、正確に記入すること。

(2) 本研修では、「Google Workspace」を利用する。利用に際し、Google アカウントや簡易マニュアルは当機構で作成し、参加者決定時に連絡する。

(3) 「全国教員研修プラットフォーム(以下、「プラットフォーム」という)を利用している自治体からの参加者に関しては、プラットフォームへの本研修の修了状況の登録を当機構で行う。

登録に当たって、参加者のプラットフォームログインIDが必要となるため、プラットフォームを利用している自治体は、推薦を行う際に研修システムより候補者毎にプラットフォームログインIDを入力すること。

(4) 本研修の参加に際し、特別な配慮が必要な者（障害、持病等）を推薦する場合には、事前に当機構に相談すること。

(5) 第1回の宿泊の手配等については各自で行う。

(6) 第2回では、Web 会議サービス「Zoom ミーティング」（(株)Zoom ビデオコミュニケーションズ）を用いて同時双方向通信を行う。参加に当たっては、当該ソフトウェアのインストールやインターネット通信環境の確保の他、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Web カメラ等の必要機器を備えた端末を、1人1台準備すること。